

● 予算委員会

◆ 子育て世帯生活支援特別給付金

予算額 1,100万円(全額国庫負担)

対象が令和4年2月までに生まれた子となっていることについて、理事者からは、新生児の届けの登録は翌月(3月に生まれた子は翌年度)に対象が移るのが通例で、期間を短く設定している訳ではなく、前回、市が行った給付金の対象から漏れた新生児もこれでカバーできるとの説明がありました。

その他、委員からは、この給付金を勝山で消費していただけるような工夫をしてほしいとの意見もありました。

◆ 道の駅機能強化事業費

予算額 6,826万6,000円

終息の見えないコロナ禍において、従来の観光政策や企業誘致政策の方針の変更も考えられることから、産業団地計画の縮小や工事計画の見直しといった部分に質問する委員と、市の発展を願い、計画推進を容認する委員の間で議論が交わされました。

その中で、この計画に関し、市民にもっと情

審査の結果、議案1件を可決し、議案2件を全て承認しました。

報を出していくべきだとの意見もありました。

◆ 勝ち山飯お座敷体験事業

予算額 400万円

実施期間 8月31日まで

イベント等の激減による需要減少や若者の利用促進を目的として、市内の会席料理を提供する21店舗を対象に、市民が消費した料理(飲み物は対象外)の金額の一部を市が負担する事業で、期間は7月28日から翌年2月28日までとしたいとの説明がありました。

委員からは次のような意見が出ました。

- ・多くの利用が見込まれる補助事業であり、この予算額では、期間の途中で尽きてしまうのではないかと。
- ・現在の制度設計では若者を呼び込めない。
- ・若者の感染リスクが軽微である情報などを周知しなければ、動けない風潮がある。

これらを受けて、理事者からは、本事業の目的はお座敷文化の維持が主であり、実施期間も7月1日から8月31日までの2ヶ月間としたいとの説明がありました。

● 議会改革特別委員会

議会広報については、議会情報をできる限り早く市民の皆様へ伝えるため、Facebookの活用を認めました。

また、タブレットを導入して完全ペーパーレス化を実施していますが、タブレット機能の充実など、今以上に使い勝手を良くしたい旨の提案が多く出ました。

議員定数については、市民から信頼され期待される議会のあり方等について整理をする中で、各種団体との意見交換会に臨み、議員間の協議により、議員定数の結論を出していきます。

● 総合計画特別委員会

理事者から、2月に実施した市民アンケートの分析結果の報告があり、また7月から8月にかけて開催予定の市民意見交換会や市内在住の中学生、高校生へのアンケート実施等、今後のスケジュールについての説明がありました。

委員からは、「意見交換会等には若い方を含め多くの市民に参加していただけるよう、実施方法を工夫すべき」、「総合計画は市の最上位計画。各課にわたる共通課題の再検証が必要」、「人口減少の観点だけでなく、関係人口を増やす施策を推進すべき」といった意見がありました。